

中学生サミット通信

平成28年11月1日発行

文京区青少年委員会

会長 石田 幸雄

第44回中学生サミット連絡会が平成28年7月2日に文京区立茗台中学校において開催されました。



中学生サミット連絡会は、文京区青少年委員会が実施しています。全文京区立中学校の生徒会が参加し、各校の特色や独自の取り組みに関する情報交換を行い、各生徒会の活動を活性化させて自主性を育てること、区立中学校の生徒の親睦を図ることを目的としています。

そして、会場設営・議題の提案・議事進行を会場校（ホスト校）の生徒が行っています。

今回は、タブレット端末を使用するという新しい試みで会場校の生徒たちは模擬サミットを事前に行うなど準備を重ねました。

今回のテーマは、

18歳選挙権について

～中学生の私たちにできること、「18歳になったら選挙に行く」という意識を高める標語を作ってください～

熊本地震がありました

～東京で首都直下型地震が起きたとき、中学生の私たちができること、中学生の防災意識を高めるために、生徒会としてどのようなことを呼びかけますか～

について、活発な意見交換が行われました。

今回の

サミット

まとめ

“18歳選挙権について”の標語は、『そうだ、選挙に行こう』に決まりました。

中学生の防災意識を高めるため『避難訓練に真剣に取り組もう』『防災グッズを確認しよう』『被災した方に話を聞こう』の3つを呼びかけることになりました。また、区内10校の生徒会の交流と、今回のテーマを継続して取り組むために、ポスターを作成し全校に送り掲示することになりました。

ホスト校 茗台中学校生徒会の皆さんの感想を紹介します

役員 K

今回のサミットはタブレット端末を使っただけのサミットでした。私は、みなさんの考えをまとめてタブレットに打ち込む作業をしていました。大変でしたがとてもやりがいがありました。また、ホスト校だったこともあり、今までで一番楽しい中学生サミットでした。サミットの準備をしてくださった先生方、役員の方々に感謝したいです。

今回ホスト校を担当し、任期終了を迎える前にサミットの裏側の仕事を体験できとても良かったと思っています。特にPCを使った新しい試みにも挑戦し、途中トラブルもあったもののサミットは無事成功に終わりました。それも、生徒会のみんなや尽力してくださった方々のお陰です。本当にありがとうございました。サミットの中でも特に嬉しかったのは、昼食を食べながらの懇談会で他の中学校の役員と学年を超えて話をできたことです。私たち三年生はこの夏で残念ながら引退しますが、これからもそのような生徒会役員同士や中学校同士のつながりを大切にがんばって欲しいです。

生徒会長

役員 S

茗台中学校がホスト校になると聞いたとき、私は喜びました。しかし、タブレットを使うと聞いた瞬間、私はタブレットやパソコンが苦手なのでとても焦りました。何度も練習を重ね、少し上手くなりましたがまだ少し不安が残る中迎えた本番。私は、緊張のせいか想像以上にタブレットを使えず、とても困りました。タブレットを使うのは大変でしたが、良い経験となりました。また、ホスト校になれると嬉しいです。



役員 T

今回の中学生サミットでは、パワーポイントと一番初めての司会をしました。とても緊張しましたが、大きな間違いをしなかった点では良かったです。でも、小さなミスは少なくするともっと良くなると思いました。例えば、パワーポイントのスライドの完成度を上げたり、司会原稿をもっと練るなどです。この中学生サミットは、自分にとって、とても良い経験になりました。

役員 O

今回茗台中学校がホスト校として中学生サミットを行うことになり、準備に力を入れました。本番ではグループの司会をしたり、他校の意見を聞くことができとても良い経験になりました。グループの司会では、意見を出す人がだんだん増え、司会をしてまとめることができました。首都直下型地震と18歳選挙権について話し合った標語を、これから生徒会としてしっかり呼びかけていきたいと思っています。